

いまこそ吟剣詩舞道の振興と 事業のさらなる活性化を目指すとき

公益財團法人 日本吟剣詩舞振興会 会長 沼 崎 富

このたび、全国吟剣詩舞道大会が、日本財団助成事業・高松宮妃癌研究基金奉賛大会として開催されますことは、吟剣詩舞道界にとって、非常に意義深いことであります。

ご周知のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大により、斯界も厳しい時期が続き、各流派、会派の皆さま方には、言葉に現わせないご苦労ご心労は如何ばかりかと、心中ご推察申し上げる次第でございます。

こうした状況にある今こそ、日本の歴史の中で生まれ、日本人自身が育ててきた伝統芸道である吟詠、剣舞、詩舞を、全国の指導者と会員の皆様のご協力をいただき、吟剣詩舞道を推し進めることができると感じております。

本大会は五十回を越える全国吟剣詩舞道大会の歴史の中でも、初めて西日本地区で開催する大会となります。開催にあたって、中国地区連絡協議会及び岡山県吟剣詩舞道総連盟の皆様にはご尽力いただけ誠にありがとうございます。

本大会のメインの一つである全国吟詠合吟コンクールを一チーム十五名として実施するとともに、全国コンクール優勝者による披露、少壮吟詠家選考審査会入賞者吟詠、地区連絡協議会推薦・幼少年代表・開催地代表による演舞、そして特別企画番組として、瀬戸内海を舞台とし、源平の争いを吟と舞で綴る構成番組「染む紫の雲の上まで」等、見応えのある充実の一日となるものと存ります。

本大会を契機に、吟剣詩舞愛好家のみなさま、広く社会一般の方々に吟剣詩舞の素晴らしさについて、改めて知つていただく良い機会になることを切望することとともに、この芸道の向上と普及の先に、これを本格的な国民芸道、すなわち、眞の国民文化として発展させていきたいと考えております。
ここに日本財團の温かいご支援に深く感謝を申し上げますとともに、今後いつそうのご協力をお願い申し上げまして、ごあいさつといたします。

祝辞

日本財団 会長 笹川陽平



このたび、第五十四回全国吟劍詩舞道大会が盛大に開催されますことを心よりお祝い申し上げます。

創設者である笹川良一は、かつて、このままでは「日本は経済で栄えて魂で滅びる」と憂えていました。物質的な幸せとともに精神的な充実感、この均衡が取れてこそ眞の日本人といえるのではないでしょか。吟劍詩舞は、人の魂に栄養を与えるにまたとない芸道です。また、次代を担う青少年に礼と節、思いやりと親孝行を教え、協調と友愛の心を育むものであります。一人でも多くの次代を担う青少年の参加を期待したいものです。

さらに、この日本の伝統芸能を通して、海外の方々に日本文化の豊かさや日本人の精神性を広く周知していただきたいと思います。

又、私がライフケースとして取り組む、ハンセン病の制圧活動に長年にわたり皆様方からの浄財を頂戴しておりますことに御礼申し上げます。

今回の大会が、日本を代表する伝統芸能として再認識される機会となるとともに、本日の大会のご成功と、ご来会の皆様のますますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

祝辞

文化庁長官 都 倉 俊 一



この度、第54回全国吟劍詩舞道大会が開催されることを心からお喜び申し上げます。

今年も本大会が盛大に開催されることは、ひとえに、日々精進を続けておられる全国各地の吟劍詩舞道家の皆様、並びに、主催者である公益財団法人日本吟劍詩舞振興会の長年にわたる御尽力の賜であると、深く敬意を表します。

吟劍詩舞道は、日本の歴史と伝統の中から生まれ、守り伝えられてきた伝統的な芸道であり、礼と節をその心とし、詩歌に親しんで情操を高め、日本人の心を探求しながら、自己の陶冶を志向するものであります。日々の研鑽によって、先人から受け継がれてきた礼節を修得することはもとより、個々の創造性や表現力を高め、次世代へ継承・発展させていくことは、大変難しいものと拝察します。

そのような中で、吟詠や剣舞、詩舞の普及奨励と、芸術的向上に資することを目的とした本大会が果たす役割は大きく、世代を超えた吟劍詩舞道家の方々が一堂に集い、詠い、舞う、大変意義のある祭典です。御出場の皆様方におかれましては、この晴れの舞台を十分に楽しみつつ、日頃の精進の成果を存分に發揮し、より多くの方々に吟劍詩舞の魅力を伝えたいと思います。そして、御来場の皆様方には、洗練された数々の演舞等を通じて、吟劍詩舞の素晴らしい魅力を感じていただければ幸いです。

文化庁におきましても、歴史と文化が溢れる京都の地から、我が国が誇る伝統文化の継承・発展に取り組むとともに、文化芸術による新たな価値の創造の素晴らしさを発信していく所存です。引き続き、皆様方の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本大会に御出場の吟劍詩舞道家の皆様ならびに御来場の皆様の御健勝と御活躍、公益財団法人日本吟劍詩舞振興会の御発展を祈念いたしまして、本大会に寄せるお祝いの言葉といたします。

吟劍詩舞道憲章

一、基本姿勢
吟劍詩舞道を行なう者は 礼と節とを行動の軌範とし 日々 芸の研鑽と品性の陶冶に努める

詩歌は人の心の表現であり すぐれた詩歌は人類文化の遺産である われわれの先達は この詩歌を吟じ その吟により舞うことを考え 芸としての向上進歩を目指して精進努力を重ね 吟詠 剣舞 詩舞という わが国独自の高雅な芸道を育てあげた

吟劍詩舞道は礼と節を その心とする 詩歌に親しんで情操を高め 日本民族の心を探究しながら自己の陶冶を志向するこの芸道こそ わが国の精神文化の高揚に不可欠のものである

われわれは この価値ある吟劍詩舞道を受け継いだことに大きな誇りをもつと同時に 各人の研鑽と相互の協力によってますます斯道を隆盛に導く責任を果たさなければなりません しかも その実践はこの芸道の心 すなわち礼と節の上にたたなければならない その軌範として この憲章を制定する

昭和五十年一月十一日

公益財団法人 日本吟劍詩舞振興会 会長

笹川良一

ほか役員一同

二、指導者的心構え
吟劍詩舞道を指導する者は みずから師たるにふさわしい人格 識見を備え 指導全般にあたっては 権威をもつて臨む

三、師に対する心構え
吟劍詩舞道を学ぶ者は子弟の礼節をわきまえ秩序を堅持する

四、分家 独立
吟劍詩舞道を行なう者が分家 独立する場合は その組織を代表する者の許しを得る

五、他流との関係

吟劍詩舞道を行なう者は 他流の名誉を傷つけ 秩序を乱すような言動は厳に慎しむ

六、吟劍詩舞道の普及向上

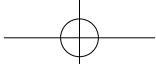
吟劍詩舞道を行なう者は 大衆性と芸術性とを併せもつ 斯道の今日像を正しく伝え 特に青少年層における吟劍詩舞道の普及向上に努める

七、吟劍詩舞道の目標と相互の協力

吟劍詩舞道を行なう者は 相互に強調 互讓の精神をもつて斯道の普及振興に協力し 本会の認める姉妹団体とも 動物有機体的團結をもつて 日本の伝統に基づく 国家社会の正しい発展に寄与する

大会役員

同 顧 問	同 特別顧問	同 実行委員	大 会 副 会 長	大 会 會 長
勝 大 志 二 早 松 部 橋 塚 神 淵 永 吼 宗 心 清 鯉 悠 嶺 風 將 竜 操 楓	横 安 山 山 廣 益 小 山 永 本 路 重 中 幡 精 江 賀 泰 光 鵬 神 真 悠 陽 洲 風 山 敘	杉 清 藤 池 浦 水 上 內 英 錦 翔 賢 容 洲 山 二	早 德 沼 淵 田 崎 鯉 寿 將 風 富	
阿 小 佐 石 藤 山 部 林 木 川 上 中 吟 北 一 春 南 梅 鳳 鵬 景 洋 山 鈴	青 多 橫 日 前 藤 柳 田 山 置 島 原 芳 正 寿 彩 吳 摂 寿 朗 稔 城 峰 龍 楠	古 鈴 安 吉 川 木 田 田 壽 吟 水 魁 泉 亮 鈴 桜		
甕 田 菱 藤 鈴 岡 邑 谷 岡 木 田 經 嘉 彩 鶴 啓 翠 風 風 佑 伯 仙 松	田 多 山 杉 野 矢 中 田 內 浦 中 萩 岳 正 正 容 秀 凤 藤 滿 風 楓 凤 祥	伏 田 入 河 尾 中 倉 野 琵 国 昭 鶴 城 臣 星 聲		
川 梶 渡 星 久 豊 原 辺 野 田 島 靈 凰 櫻 紫 信 栄 宗 映 虎 虹 風 陽	山 八 向 小 八 武 口 文 字 山 野 代 田 華 剛 侑 光 輝 祺 雋 洲 吟 扇 翠 靈 洲	高 遠 藤 宮 木 藤 本 川 法 晃 誠 紫 洲 楓 堂 朋		



会 場 委 員 長	同 副 委 員 長	庶 務 副 委 員 長	委 員 長	總 務 副 委 員 長	總 務 委 員 長	括 委 員 長	副 委 員 長	總 鈴 中 赤 山 寺 粟 足 田 平 下 熊 森 部 木 嶋 峰 本 山 野 立 村 岡 原 本 山 齋 報 洲 宗 郁 演 天 電 育 天 光 龍 慧 清 山 信 玉 聖 靈 志 洲 曜 城 月 峰 劍 山 明
梶原 矢吹	筑後 山本	中西 山城	大橋	藤上 高木	翔山 法洲	菅源 右光	佐藤 翔風	渕 松 池 春 後 白 山 鈴 田 杉 師 高 薦 宮 上 澤 田 菜 藤 井 下 木 中 山 岡 橋 田 野 岳 天 嶺 翔 滉 寛 神 海 照 翔 祐 瑞 南 鶴 恵 楓 煌 桂 靈 洲 燈 洲 風 鴻 學 祥 尚 誠
重岳 勢風	魁山 驚風	明洲 摂撫	宗風	渡辺 千田	千田 岳鵬	中林 凉風	森岡 盟山	熊 大 奥 松 橫 小 久 渡 中 三 麻 竹 藤 木 本 達 村 川 山 峯 田 邊 山 橋 生 內 河 雪 翠 不 精 岳 公 吴 正 皇 岳 吟 契 岳 賀 久 洲 山 枯 曜 匠 風 苑 峰 洲 裹 煌 春 南 清
赤澤 志峰	川渕 洋鵬	小坂 蘆洲	渡辺 岳泉	高津 岳鵬	菅源 右光	佐藤 翔風	森岡 盟山	浮 前 木 矢 林 丹 小 澤 毛 山 深 白 浅 津 濱 村 橋 治 林 石 塚 下 浦 川 田 虔 錦 凰 奉 靈 独 岳 峯 靜 明 精 渚 聖 山 城 鶴 城 山 風 章 洲 精 穂 正 風 風
		森 森	康 風	渡 辺	千 田			
		木 庭	洋 洲					

委員長	同副委員長	副委員長	警備委員長
式典委員長	賞状作製委員長	競吟委員長	來賓受付委員長
森真鍋	柴倉勇洲	北村攝惠	安田楓央
信洲尊英	北村勇洲	北村攝惠	高橋浦部
藤原征風	柴倉勇洲	北山野瀬	高橋浦部
圭泉瑚秀	北山野瀬	北山判野	高橋浦部
征風	北山野瀬	早田貴康	高橋浦部
森脇森本	早田貴康	武岳貴康	高橋浦部
碧水玉惠	武岳貴康	山下瞳泉	森脇森本
展鵬好井	山下瞳泉	岩山元風	大月玉惠
森脇森本	岩山元風	新美璃空	好井
碧水玉惠	新美璃空	小林寛笙	和氣正山
展鵬好井	小林寛笙	山下瞳泉	好井
森脇森本	山下瞳泉	岡崎玉紹	和氣正山
海山教世	岡崎玉紹	川口笙馨	好井
家原実誠	川口笙馨	永岡	海山教世
象景正俊	永岡	高橋	家原実誠
大石馬場	高橋	彩	象景正俊
浅上陽子	彩	藤上綺夏	大石馬場
尊洮楓諒	藤上綺夏	石原愛美	浅上陽子

大 会	廣 報	医 務	着 付	舞 台	副 委 員 長	劍詩舞進行委員長						
事務課員 事務局長	本 部	委 員 長	委 員 長	委 員 長	委 員 長	安藤 西本多美恵 安藤 覺春						
森谷	大塚	大田	菅源	宮本	那須	高田	浅原	柳本	永岡	安井	永岡	安藤 西本多美恵 安藤 覺春
文子	政暢	直樹	右光	馬場	松永	藤島	柳本	秀玲	笙山	笙山	笙山	白神 影泉
			左麗	宮本	華清	高田	鐘風					白神 影泉
				馬場	楓山	惠隼	將學					
				美泉	惠純							
				川口	浦部							
				惺虹	圭泉							
					岡崎							
					侑象							
						王田	田中	奥山				
						晃隼	翔佳	美紅				
						杭田	北山	高見				
						誠秀	加寿美	瓊翔				
						永瀬	高田					
							黒田					
							健一	和風				
								雪深				

吟詠テキスト

(A4版) 上段には詩文にアクセントと解説
下段には十線譜に音程を表記

- ◆中国絶句編 [105題] 3,000円(税別)
- ◆日本絶句編 [125題] 3,000円(税別)
- ◆短・和歌編 [115題]
- ◆中国律詩編 [66題]
- ◆日本律詩編 [63題]



- ◆吟詠と音の関係
- ◆詩吟と歌を結ぶ声の向こ 2,500円(税別)
- ◆尺八・箏の詩吟伴奏 4,500円(税別)

吟詠カラオケ

音程別伴奏カセットテープ
(低10本(水3)~9本まで12音階)

- ◆一般編 (尺八・箏) 2,200円(税別)
- ◆中国絶句編 (尺八・箏・古琴・太鼓・横笛) 2,200円(税別)
- ◆日本絶句編 (尺八・箏・古琴・太鼓・横笛) 2,200円(税別)
- ◆短・和歌編 (尺八・箏・古琴・太鼓・横笛) 2,000円(税別)
- ◆中国律詩編 (尺八・箏・古琴・太鼓・横笛) 2,000円(税別)
- ◆日本律詩編 (尺八・箏・古琴・太鼓・横笛) 2,000円(税別)

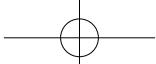
流用か確認中

書出版社

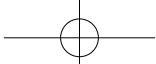
〒502-0004 岐阜市三田洞861番地の2
TEL058-237-5837(代) FAX058-237-6651

大
会
参
与

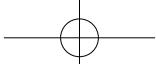
桃三土中小奥郡石佐佐館東松
山枝屋中沼積司塚藤田田
玉契恵子暁修精政清仁刀岳錦鶯國
涛憲鳳凰葉政洲秀風洲旺
山野杉原長安瀬佐藤高橋下溝橋
室坂本谷増間凱岡村口本
瑞隆豊翠如煌源踪一奧吟國精
山玄道洲心誠鵬紀透淙
長渡吉武水小広野金庄佐藤西口
契錦帛嶺貴鶯心琴凱輝旭希琴玲
篠福片林林渡小栗宮山寺小
崎田山邊林田川尾高橋寺野
興秀奏煌華星映姚紫誓岳錦紗北
國峰鵬成仙琴洞雲茜慶洲紗星
藤木秋長石川小平原吉田鈴木皆伊藤
岳精煌春灘東龍心楊龍旺岳煌
龍正研芳玉道心榜旺岳煌
前東岡中足橋田見石埜大柿多
田武立本畑城井本内清水山本
卓豊玲綠清水星桃朋豊正穂岳
靈山一穗邦姫舟苑穗正穂岳
久保藤木池米田齋古青柳笠井
田山原二神中山木賀源松井
章伯光清菖岳麗真彩染太朗右光
峯伶子鷹聲黎麗真彩染太朗右光
風瑞翔壯扇山盟紫峰楓晃芳洲需
山雲秀壯扇山盟紫峰楓晃芳洲需
菰田上松吉森佐前和星野八代藤井
田岡本岡佐々木野河氏原大島
鳳曉綠穗盟山紫峰洲虹晃芳洲需
秀壯扇山盟紫峰楓晃芳洲需
森脇渡向野中島棉生淺塩澤佐
中島中島中島中島胡宮藤後藤
櫻紜侑秀珠聖宗翠精昭月翔
泉真宗童謙鳳精秀陽鍊戈風
平野吉飛安大山内藤上久保
吉田田野森岡山中林高山伊東菊川
岳晴觀神洗英風桜山奉悠榮涼秀
心藍靈風女将秀峰千穗秀月
岳煌



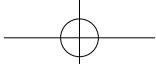
杜小土千平小鉤河金龜妙植藤中後藤斎久島松酒田滝高橋根鈴木田崎藤大金
下坂井田川田戸山中村本谷藤保田酒代井岡布谷翔遊月鴻伯壽楓
勝蘆典岳水岳正城婉靜尚快驚紫滔娟胡曉昌岳博邦秀峰嶺香遊月鴻伯壽楓
峰洲周鵬昂嶺賀華華登鳳桜心風周伸邦峰嶺香遊月鴻伯壽楓
倉谷二藤尾青湯吉藤洞川北鈴小加出中栗稻落浦小笠菅加柏大塚中清齋藤
本野宮崎柳崎村田口川木嶋藤島村原葉合田原靜磨岳隆美吟心
月恍信鴻合芳慧應鳳叡芳鳳永水象岳義超歌詔總穗岳佐鳳堂豊聲晃
華城風琳泉榮月風城鼓山心山將明歌詔佐紅豊聲
杉河河向中筈中矢松寺久辻森岡堀北大愛坂赤武川谷小中佐杉猿渡田
高原村山西野村野田保本宗田口瀬川知井坂仲地池野藤林渡田
馨志昇滄攝華雄惊春洋正水呀桜孝岳清紫岳瑞神絢煌洵吟瑞光柳禎
仁風山洲漿翠声泉秀洲鳳桂城幻心櫻城嵩静朋憲寶水風紫鳳樹水彰
秦竹佐佐山古中山前井竹芳大稲本酒今石岡村長美魚棹江船河金
内々夕本木村田川上内倉場林垣野井村橋田瀬江咲住口田上子
木早龍翠鷺哲旭靜鯉淳清岳快岳南彩穗精郊奉龍伸裳清茨麗君
洲馨花滉風壯聖將佳泉泉峰正川峰耀賜邦浩峰星風庵水風翠風峰
高山西長坪細田北志坂稲繩上山村中井榦荒井青山三後藤杉田奥谷山鷺木垣林
木城向尾井田中川田本田本田本村戶榦原井高田青山三後藤杉田奥谷山鷺木垣林
寺婉明靜岳誓璋祐水攝碩胤東水素紫錦正宝簾洲兼風隆陽東洲真風重溪昌彩國峰真萩
風洲邦鶯山行泉正領秀胤學心堅正宝勲洲兼風隆陽東洲真風重溪昌彩國峰真萩
精鄉



菊後	大木	多木	柳本	丹内	伊池	内藤	岩崎	濱江	牧福	葵明	矢尾	宇都	奈良	中津	豊崎	嵯田	大平	嵯峨	田村	為廣	
池藤	祐國	岳晶	豊洲	東光	池光	藤光	崎嶠	口	福光	神野	都松	良都	都宮	中宮	狭瑞	若瑞	瑞仙	瑞士	瑞龍	江泰	鷺洲
後藤	祐岳	晶岳	豊東	筑珠	筑趣	廉紫	岳崩	曉船	攝莊	庸靈	季瑞	秀鳳	岳春	公秀	清克	靈幹	靈城	靈秀	靈泉	煌道	鈴鈴
本	岳子	晶峰	豊峰	珠峰	趣峰	廉紫	崩峰	船峰	莊靈	瑞靈	秀鳳	春鳳	春秀	秀克	幹城	靈城	秀城	秀泉	煌應	道鈴	鈴洲
立渡寺	見部嶋	大根	関山	日池	渕大	岡日	石野	岩正	北藤	堀安	永藤	吉永	新原	土原	斎藤	大江	大江	大草	越平	草薙	
見	部	嶋	大	向田	上坪	野日	村上	田正	北村	村堀	永村	吉永	新田	土原	斎藤	大江	大江	大草	越平	草薙	
岳鳳	錦翔	靖峰	根峯	梅岳	蘇松	麗代	岳峰	真光	榮選	秀瑞	燧鶴	靈鶴	黎元	稻鶴	靈鶴	鴻雲	公昇	清透	瑞翔	瑞瑤	
元堂	良峯	峯桜	根峯	峰彩	孝蓮	風代	峰光	靈彥	靈寶	秀翔	靈翔	元翔	元鶴	元鶴	元鶴	鴻雲	公昇	清透	瑞翔	瑞瑤	
野石	佐梅	吉吉	吉田	柴宮	永森	永日	藤清	椎原	松大	市篠	橋原	松原	山龜	小木	島中	木中	木中	木中	木中	木中	
村川	藤田	田	田	崎田	渕向	本向	本家	原原	勝大	勝市	篠原	原原	原原	木谷	中谷	中谷	中谷	中谷	中谷	中谷	
岳粹	渾宸	錦德	根峰	紫精	豊楠	春詩	穂大	櫻秀	善脇	圭綾	翠龍	浩藍	孝公	澧彩	澧光	澧光	澧光	澧光	澧光	澧光	
元堂	鳳洲	翠桜	峰	英孝	蓮峰	峰	雅	鳳香	春鶯	春鶯	龍藍	藍	公	彩	泉	泉	泉	泉	泉	泉	
宮砂	澤水	阿部	部	山村	北吉	福梯	梯折	甫內	坂有	岡坂	野前	前石	石草	上長	田福	田萱	田萱	田萱	田萱	田萱	
島澤	上谷	也	也	原原	竹吉	井福	井梯	守內	澤東	東崎	原野	原野	原難	本本	本家	本原	本原	本原	本原	本原	
神紫	吟嶺	國耀	耀	優堂	廣神	誥櫻	劍麗	守內	澤有	東坂	前岡	前石	石草	長田	田福	田萱	田萱	田萱	田萱	田萱	
鳳齋	吟秀	華耀	耀	山勢	勢靈	靈也	麗門	內內	澤東	坂東	野前	前石	石草	上長	田福	田萱	田萱	田萱	田萱	田萱	
高宍	宍中	小林	原	津村	緒向	湯寺	高山	濱綠	小安	坂大	坂和	原中	中菊	中桃	中泉	中泉	中泉	中泉	中泉	中泉	
戸根	根林			方山	本山	本町	巢巣	北濱	安塩	大塹	坂本	和泉	原本	中池	中井	中井	中井	中井	中井	中井	
峰精	岳莊	靜褒	惣翔	義惠	豊幸	侑里	阮靈	松博	娟峰	岳涛	優聖	晃樓	鴻蓉	勢鶯	香峰	靈花	瑞祥	景妹	梅憲	翠峰	鴻耕



小森猪上土田安中宮中山高瀬木長谷川森迫鬼澤宇伊門吉大御柳中藤尾志壽輝
 林島木田本中田西本嶋崎木下谷川下神尾井倉野大閑手洗代田柳生中島
 翠麗漱水堤攝靜剛妙宗天誠輝君星京陽聰翔昭吟瑛修契琵琶煌瑤勝風貴顯譚燈吟川園心
 山櫻泉風聲洋月賀岳宗山誠鳳星楓陽瑛昭城香江瑤勝風顯譚燈吟川園心
 片大木寺青下田桶成中堀高米岡佐藤中土上古城梶黑山牧石山師岡井慶濤正之丞
 山下山村田柳河邊中谷田川橋岡本藤澤中方田上古原柳崎牧石山城井川
 久馨師紫航將芳佳頌美秀岳篠精彰義慧吳翠精麗誠神蘇錦鷲凱邑帥
 山風泉航曠紀風景岳湧岳慎仁鵬吟湧鶴修心雲山文神蘇錦鷲凱邑帥
 小谷賀增今梅田大長溝今四岡経山辻掛横太田和丹羽川花藤井星野八森藤一條
 原邊木嶋脇木村田田田田見城和田丹羽川花藤井星野八森藤一條
 清範斑萌香永岳蓮詩紫蓮羚岳錦華篁龍精修道心隼嶺國霜鳳翔月愛雲山文
 山山心扇風景長扇月悠翠華篁龍精修道心隼嶺國霜鳳翔月愛雲山文
 中島青内西安中和安林小池石田神清伊星甕高石川白男川大野地櫻堂永石田三浦
 木藤口倍町田倍池田林水藤野星甕高石川白男川大野地櫻堂永石田三浦
 翔劍秀拡秀佳正呈龍輝天秀燎正紫溪清春學酬月落紫翔和洲春濤鳳章翠晴惠月
 龍心山壽風洲榮風山星天翔洲鵬峰榮正紫溪清春學酬月落紫翔和洲春濤鳳章翠晴惠月
 中岸松米小藤柏佐田蒔黑澤万代中田鳥居杉山竹内国分石川今村五月小倉志村龟井北川
 西田永本嶋原木佐々木中淳澤呂中田鳥居杉山竹内国分石川今村五月小倉志村龟井北川
 白天楓耿一攝鯉秀心泰心芽紫龍天心翔鵬征香墨粹正城国壮春海凱昂契秀静紅麗岳
 誠洲山泉心鵬景泰心芽紫龍天心翔鵬征香墨粹正城国壮春海凱昂契秀静紅麗岳



藤本 大瀬 定信 川下 上杉
樹風 西洲 光弘 史星 穂瑛

梯 梅木 末高 山中梅鈴子
剣真 光相子 香祥

松田 関谷 佐脇 伊東
岳秀 光深 孫響 穂祥

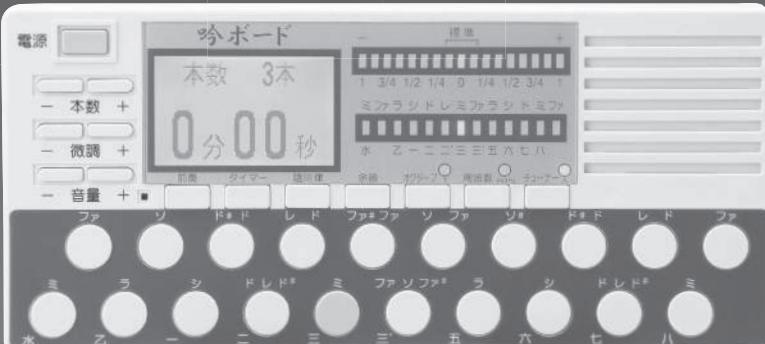
山地 諫山 清水 大野
麗莉 光之祐 豊穂 櫻華

奥村 中村 恒成 野田
麗瑠 衣山 成熙 岳珠

吟ボード

注

声の音程を優先表示できる
コンダクター（音程チューナー付）は、
吟ボード（GB-250）しかございません!!



寸法：幅 220mm × 奥行 100mm × 高さ 27mm

定価 34,800円（税込 38,280円）

*金利・手数料のかからない分割払いも承ります。

GB-250

- ① 外部マイクの差し込み口があり、CD伴奏曲と併用できます。
この差し込み口も、吟ボード（GB-250）にしかございません！
- ※ これがないと、CD伴奏曲と併用できません。（調和の練習）
- ② 弾いた曲を三曲録音（全本数で）

Q 吟ボード（GB-250）

A 音程チューナー付の吟ボード（GB-250）の音程チューナー機能です。通常は音を消すしか方法がないが、音程チューナーでその認識

練習されても意味がありません。吟ボードはお客様が誤った認識をして使用されることがない様、声を優先表示します。また音階部（ラシドミファラシド）と微調部（標準・1/2 狂い等）が連動していますので、全ての音階・音程が色で分かりやすくチェックできます。

流用か確認中

音程チューナーのないタイプ

吟ボード GB-500

定価 27,800円（税込 30,580円）



寸法：幅 220mm × 奥行 100mm × 高さ 27mm
*金利・手数料のかからない分割払いも承ります。

5,000円相当のセット品が無料！【2機種共通】



① ACアダプター
(コンパクトで軽量)



② 専用ケース (3色)
(楽器を保護する素材)



③ イヤホン
④ 単3電池



株式会社 チカモリ

〒338-0006 埼玉県さいたま市
中央区八王子2丁目17番6号
FAX 048-858-6779



吟ボード

0800-0800-345 (無料)

E-mail:chikamori7@yahoo.co.jp

検索

URL:<http://www.chikamori7.co.jp>

次 第

一、開 場 九時〇〇分
二、式 典 九時三〇分

一、全国吟詠合吟コンクール 一〇時二〇分

一、少壮審査会入選者・地区連絡協議会・
幼少年・開催地推薦吟剣詩舞 一三時一五分

一、全国コンクール優勝者の披露 一四時二〇分

一、特別企画構成番組「染む紫の雲の上まで」 一五時二五分

全國吟剣 詩舞道大会

二〇二四年十一月十日（日）

第54回 日本財団助成事業・高松宮妃癌研究基金奉賛

- 一、全国吟詠合吟コンクール 一七時〇〇分
- 入賞団体発表と表彰及び大合吟 一七時三〇分
- 一、閉会のことば

式典次第

〈司会〉 河田 蘭泉 九時三〇分()

一、国歌斉唱

二、会長挨拶

公益財団法人 日本吟剣詩舞振興会 会長 沼崎 富

三、来賓挨拶

倉敷市長 伊東 香織

四、祝電披露

五、高松宮妃癌研究基金奉賛目録贈呈

六、吟剣詩舞奨励賞授与

七、令和六年度吟剣詩舞大賞受賞者発表と表彰

八、第四十五期少壮吟士(全国少壮吟詠家選考審査会優秀成績者)紹介と表彰

令和六年度(第三十八回)

吟劍詩舞大賞 功勞賞受賞者

功勞賞

宮川 紫朋

新潟 七十七歳

紫州流日本明吟会新潟本部
会長、公益財団法人日本吟
劍詩舞振興会理事、新潟県
吟劍詩舞道総連盟理事長



功勞賞

毛塚 靜精

東京 八十一歳

吟詠精道会主幹、公益財
団法人日本吟劍詩舞振興
会元老、東京都吟劍詩舞
道総連盟理事長



功勞賞

田村天聖月

石川 七十八歳

渋川流吟劍詩舞道宗家、公
益財団法人日本吟劍詩舞
振興会元老、中部地区連
絡協議会副議長



順不同・敬称略
公益財団法人日本吟劍詩舞振興会（以下「公益財團」という。）は、吟劍詩舞道において、優れた技量を有する者、及び多大な功績をあげた者を表彰するため吟劍詩舞大賞表彰制度を制定する。

吟劍詩舞大賞 表彰制度

一. 趣旨

公益財団法人日本吟劍詩舞振興会（以下「公益財團」という。）は、吟劍詩舞道において、優れた技量を有する者、及び多大な功績をあげた者を表彰するため吟劍詩舞大賞表彰制度を制定する。

二. 賞の種類

吟劍詩舞大賞は、部門賞としての吟劍詩舞三賞、及び特別賞としての吟劍詩舞芸術大賞に分けられ、内容は次のとおりとする。

イ. 吟劍詩舞三賞

(1) 文化賞
吟劍詩舞の学術的研究で功績著しい人、及び吟劍詩舞界の全体的な発展啓蒙に功績ある人に与える。

ロ. 芸術賞

(2) 芸術賞
吟劍詩舞の芸術面で卓越した人に与える。

ハ. 功労賞

(3) 功労賞
吟劍詩舞の普及および公益財団運営の面で功績の大きい人に与える。

四. 表彰の時期

吟劍詩舞の技量の域が最高にある人に与える、なお、吟劍詩舞芸術大賞該当者が推薦された場合は、文部科学大臣表彰を文化庁を通じて上申することができる。

五. 表彰の時期

公益財団の主催する全国吟劍詩舞道大会において表彰する。
大賞選考委員会を設けて選考する。
公益財団会長の諮問機関として、吟劍詩舞

吟劍詩舞大賞

受賞者

昭和六十年度第一回	芸術賞	笛貫	鎮江(東京)
昭和六十一年度(第二回)	功労賞	諸富一郎(京都)	都
昭和六十三年度(第四回)	文化賞	黒川哲泉(大阪)	
平成元年度(第五回)	芸術賞	深田光靈(大分)	
平成二年度(第六回)	功労賞	牛尾榮洲(東京)	(京)
平成三年度(第七回)	功労賞	太田修道(千葉)	阪
平成三年度(第七回)	功労賞	吉岡竹末(福島)	都
平成四年度(第八回)	功労賞	牧清風(愛媛)	
平成四年度(第八回)	功労賞	高群岳陽(長崎)	
平成四年度(第八回)	功労賞	自神花子(熊本)	
平成四年度(第八回)	文化賞	船川錦城(大分)	
平成四年度(第八回)	功労賞	菅原利夫(静岡)	
平成四年度(第八回)	功労賞	多田正千雪山(東京)	
平成四年度(第八回)	功労賞	正鱗千榮(大坂)	
平成四年度(第八回)	功労賞	山田靖邦(岡山)	
平成五年度(第九回)	功労賞	秀峰(熊本)	
平成五年度(第九回)	功労賞	伊東正鱗(奈良)	
平成五年度(第九回)	功労賞	鯉昇(兵庫)	
平成五年度(第九回)	功労賞	妻木早淵(本州)	

平成二十二年度第一回	文化賞	宮原	小野	功勞賞	青柳芳春朗	吟琇	北海道
平成二十二年度第二回	功勞賞	田原	光翠園	功勞賞	澤村	福洲	東京
平成二十二年度第三回	功勞賞	山下	風慶	功勞賞	井川	奈川	知
平成二十二年度第四回	功勞賞	二神	神奈川	功勞賞	前島	岳偉	福岡
平成二十二年度第五回	功勞賞	吉賀	高分	功勞賞	松岡	兵庫	阪京
平成二十二年度第六回	功勞賞	古賀	東京	功勞賞	佐々木	川原	東京
平成二十二年度第七回	功勞賞	押阪	京	功勞賞	松岡	京	知
平成二十二年度第八回	文化賞	忍岡	京	功勞賞	秀鳳	京	媛
平成二十二年度第九回	功勞賞	矢萩	京	功勞賞	多田	鶯靈	大
平成二十二年度第十回	功勞賞	保三(神奈川)	京	功勞賞	佐々木	嶺城	広
平成二十二年度第十一回	功勞賞	田中	京	功勞賞	鷹龍	京	賀
平成二十二年度第十二回	功勞賞	安倍	京	功勞賞	増田	坂崎	京
平成二十二年度第十三回	功勞賞	秀風(京)	京	功勞賞	信風(岐)	野	京
平成二十二年度第十四回	功勞賞	藤原	長	功勞賞	春洋(東)	島	京
平成二十二年度第十五回	功勞賞	久保田	長	功勞賞	鵬虎(大)	島	京
平成二十二年度第十六回	功勞賞	三原	長	功勞賞	寿岳(長)	島	媛
平成二十二年度第十七回	功勞賞	瑞顯(徳島)	島	功勞賞	都崎	島	京
平成二十二年度第十八回	功勞賞	岳藤(長)	島	功勞賞	島原	島	京
平成二十二年度第十九回	功勞賞	春洋(東)	島	功勞賞	日置	島	京
平成二十二年度第二十回	功勞賞	鵬虎(大)	島	功勞賞	横田	島	京
平成二十二年度第二十五回	功勞賞	壽岳(長)	島	功勞賞	志塚	島	京
平成二十二年度第二十六回	功勞賞	都崎	島	功勞賞	佐々木	島	京
平成二十二年度第二十七回	功勞賞	島原	島	功勞賞	本	島	京
平成二十二年度第二十八回	功勞賞	媛	島	功勞賞	光風(山)	島	京

令和六年度全国吟詠合吟コンクール

一〇時二〇分

実施要項

審査委員長	特別審査委員	審査委員	副会長	徳田寿風
代議員	代理員	事長	沼崎富	
前山	河野	事員	河野	正明
紫峰	藤原光伶子	田畠	清水	
		水姫	錦洲	
			代議員	和田
			議員	池田
				菖黎 彩楓

伴奏

財団指定『吟劍詩舞道伴奏集』（本数及び曲目はあらかじめ届け出たもの）による。

運営規定

①出場団体の吟詠は漢詩絶句一題。吟題は課題吟の中からあらかじめ届け出たものとする。吟詠時間は二分

以内一節を矢張者が獨唱して、いはゆる「歌の飯」たりて、當時に流行るものと云ふ。『今昔物見事』、「今代ノノハナノ音」、『平生見事』二書、又「十日花月」の序文等、

(2)審査は日吟振内規による「吟詠コンクール審査規定」に準じ、各審査委員の持ち点を一〇〇点とし、その

上位同点の場合は審査委員長の決裁により決定する。

③賞状と賞品は次のように授与される。

高松宮妃記念旗、日本吟剣詩舞振興会長賞、日本財団賞、金メダル

二位 日本吟劍詩舞振興会長賞、日本財團賞、銀メダル

三位 日本吟劍詩舞振興会長賞、日本財團賞、銅メダル

入賞（四位）二十五位）日本吟劍詩舞振興會長吟詠獎勵獎

出場団体

〈吟題〉

1

菊花

一夜新霜瓦に著いて軽し
芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
金粟の花は開いて暁更に清し

2

九月十日

去年の今夜清涼に待す
秋思の詩篇独り断腸
恩賜の御衣今此に在り
捧持して毎日余香を挙す

3

菊花

一夜新霜瓦に著いて軽し
芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
金粟の花は開いて暁更に清し

〈作者〉
白居易

菅原道真

〈出場団体名〉
臥風流吟詠会本部Bチーム 女子 香川

植松幸風
佐々木誠風

田中光風
大西節風

片岡秀風
志風

飯村明風
慧風

長谷川喜風
永井和風

上原臥洋
和風

佐藤千尋
和風

田中祥岳
和風

高橋岳幸
和風

高橋光岳
和風

田中正風
和風

伊島隆山
和風

大崎哲泉
和風

早田武風
和風

赤枝祝風
和風

橋谷影山
和風

森田志風
和風

江上岩本
和風

鶴鳴鶴津
和風

波多野鶴渓
和風

藤崎鶴津誓
和風

奥田鶴珠
和風

岩崎郁子
和風

原田忠風
和風

尾中和風
和風

木太和風
和風

永井和風
和風

木太和風
和風

7

後夜仏法僧鳥を聞く
かくやふつぽうそうちよ
やぶつぼうそうちよ
開林独坐す草堂の曉
かいりんどくざすそうどうのあけの
三宝の声一鳥に聞く
さんぼうのこゑひとねこゑ
いつちうこうこゑあり
一鳥声人に心有り
ひとねこゑひとじるこころ
せいしんじゅうういとも
声心雲水俱に了々
よのこころくもすいきにりょうりょう

空う

春を探る

戴たい

自

菊花
きくか
いちやしんばらわ
いちやしんばらわ
芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
ばじょうはあらにちれてひがいはかたむく
寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
かんにたうるはただとうりのきくのみあつて
金粟の花は開いて暁更に清し
きんぞのはなはひいてあけよしにせいし

白

海かい

益えき

易

易

須田 風流吟詠会本部 Bチーム
田村 松川 鋒風 天風 池田 武風 男子
泰風 泰風 古賀 鎌田 鵬風 尾松 隆風
臥隆 臥隆 山岡 立川 龍風 龍風
臥影 臥影

香川
定佐

國 伯 風

庵原修風

片木 鈴木 幹風 幸風

河内麗翔 兼久麗琇 長尾鈴江
菅麗樽 小林麗輪 内田麗紫
岡田三知代 上甲麗耀 河野麗澄

伊野麗光
大原奈緒子

北岡 本田 麗翔 和枝

渡部麗
山内麗

臥風流吟詠会本部Aチーム 女子
安藤 鶴風 坂東 恵風 浦 住田
田中 啓風 青木 純風 姫風春風

香川 山本 東原 妃風 萌風

中村
江風

森 濱崎
賀風 翠風

詩吟冽風流
和田中嶋旭苑
鶴岡杏苑
城苑
女子
佐藤木村
神
淑苑
蓼苑
喜苑
東京
片岡
蕙苑
蒲生
紅苑
石井
桃苑

井原 瑞苑

木田山下 梶苑蓼苑

石井 橋本
李苑 晃苑

8

なんこうこ
わか
楠公子に訣るるの図に題す
かいとんの陰風草木腥し
しへんとうせめいかなは
史編特筆姓名馨し
いつう腔の熱血余瀧を存し
じとう見曹に分与して賊庭に灑がしむ

9

しゅつきよう
出郷の作
けつぜんくに
決然国を去つて天涯に向う
せいべつまたか
生別又兼ぬ死別の時
ていまい
弟妹は知らず阿兄の志
いのりんそで
懸勲袖を牽いて帰期を問う

10

つと
早に白帝城を發す
はくていじょう
朝に辭す白帝彩雲の間
あしたじ
千里の江陵一日にして還る
せんり
两岸の猿声啼いて住まざるに
りあがん
輕舟已に過ぐ万重の山
けいしょくすで

11

つと
早に白帝城を發す
はくていじょう
朝に辭す白帝彩雲の間
あしたじ
千里の江陵一日にして還る
せんり
两岸の猿声啼いて住まざるに
りあがん
輕舟已に過ぐ万重の山
けいしょくすで

山陽

佐野竹之助

堀井
山地
岳風
宮本
舟風
五嶋
延辰

久保
仁風
信風
雅風
浅井
健風
堀合
香川

草薙
賢風
横田
良風
香風
大西

片山
小竹
勲風
辰風

哲泉流中国地区Bチーム 女子 岡山

明金 雪吉
水泉 春佳
奥野 春踊
英子

木下 赤澤
和子 榴泉

岡田 丸野
春愛 蓬泉

樋口 新谷
春暁 系泉

牧野 滝澤
春瑤 俊泉

李り

白はく

李り

白はく

佐野竹之助

豊晃吟道会 女子 福岡

星野 齋藤 三浦 明金
豊珠 晃菊 馬場 春佳
箕野 晃桃 晃華

内野 千鶴豊
牟田口 晃聖
下川 恵美子

下川 古野 美豊
広野 美峰

三角 加賀田
豊舟 晃月

中村 富安 豊菜
晃登

徳島県吟劍詩舞道総連盟 女子 徳島

原 安田 真鍋 水鉢
華錦 景江 森脇 櫻泉
福井 福原 福井 祥蓮
揚碧

生越 広野 美峰

萩原 塩田
景實 瑞月

岡山 野口 瑞博
柴風 瑞博

19

菊花 きくか
 一夜新霜瓦に著いて軽し
 芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
 寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
 金粟の花は開いて曉更に清し

決然国を去つて天涯に向う
 朝に辞す白帝彩雲の間
 千里の江陵一日にして還る
 両岸の猿声啼いて住まざるに
 軽舟已に過ぐ万重の山

弟妹は知らず阿兄の志
 髮懸袖を牽いて帰期を問う

芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
 寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
 金粟の花は開いて曉更に清し

18

17

16

菊花 きくか

一夜新霜瓦に著いて軽し
 芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
 寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
 金粟の花は開いて曉更に清し

早に白帝城を発す**李****白****白居易****佐野竹之助****白居易****熊本県吟劍詩舞道総連盟****女子 熊本**藤城 宗丈
吉田 繚峰
後藤 侑絹
山中白梅子

池田 趣峰

多田惠峰

小林 荜峰

鈴永

宮原 侑曲

辻 深草

侑陽

琳峰

福岡県吟劍詩舞道総連盟**男子 福岡**笠井 栄俊
岩田 栄篁
悠泉 信国
鈴木 栄秀

小塙 晃樓

川口 楠本

管田 啓鳳

森戸 慶山

西本 博泉

尾方 舜山

佐々繁恒泉

坂下 侑豊

安部 井鈴裕

松熊 將聖

堺 駿

岡部 晃生

省岳

川本 野崎

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉

麗早

長井 麗井

和代 麗千

勇野 嘉麗希

田中 麗光

森 勵山

幸泉

近藤 麗春

田中 麗光

奥村 麗瑠

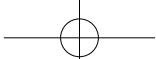
曾根 麗靖

浅田 麗洋

篠原 麗素

近藤 房子

篠原 麗莉



23 22 21 20

出郷の作
しゅつきよう
けつぜんくわく
決然国を去つて天涯に向う
せいいげんこくをよつててんがいにむかう
生別又兼ぬ死別の時
せいべつまたかじめぬしほ別のとき
弟妹は知らず阿兄の志
ていまいめいわらすあきのじ
慇懃袖を牽いて帰期を問う
いんぎんそくをくいしてききをたずねる

出郷の作
しゅつきよう
けつぜんくわく
決然国を去つて天涯に向う
せいいげんこくをよつててんがいにむかう
生別又兼ぬ死別の時
せいべつまたかじめぬしほ別のとき
弟妹は知らず阿兄の志
ていまいめいわらすあきのじ
慇懃袖を牽いて帰期を問う
いんぎんそくをくいしてききをたずねる

太田道灌蓑を借るの図に題す
おおただうかんみのかずだい
無人の島は定めて何れの邊なる
かぜをおきうらうほんばのじく
風を追う狂浪奔馬の如く
なまざんようふくらうほんぱのじく
忽ち巉礁に触れ碎けて煙と作る
こうぢかんじょうにふれしおれてえんとつく

海を望む
うみのぞむ
際晴れ開く九万の天
ほうち晴れひらくきゅうまんのてん
人の島は定めて何れの邊なる
ひとのしまはさだめていがのへんなる
風を追う狂浪奔馬の如く
かぜをおきうらうほんぱのじく
忽ち巉礁に觸れ碎けて煙と作る
なまざんようふくらうほんぱのじく

藤井
ふじい
竹外
ちがい

佐野竹之助
さのたけのすけ

作者不詳

吟道翔風流日本吟翔会
ぎんどうしょうふうりゅうにっぽんぎんしょうかい
男子
めいし
小林 奥田 佐藤 万風 剣風 清水 章彰 平家 森本 竜泉 耿進 瑞声
こじま おくだ さとう まんぷう けんぷう きよみず あきよし へいけ もりもと りょうせん こうしん みずかず じゆく

哲泉流中国地区Bチーム
てつせんりゅうちゅうごくちくビチーム
男子
めいし
白神 三原 仁科 魚春 晴 国光 水島 井上 村尾 翔風
しらかみ みはら じんくわい うおしゅん はる くにが みずしま いのう くわい あやめ

愛媛県吟剣詩舞道総連盟
えひんけんぎんけんしどうそうれんめい
男子
めいし
松井 能田 雅洲 原 清綠
まつい のうだ まさす はら せいりく
西藤 桜山 寺尾 恒洲 上岡 脳洲 岩城 溪峰
さいとう さくらやま てらお こうしゅう じょうおか はのうす いわき

愛媛県吟剣詩舞道総連盟
えひんけんぎんけんしどうそうれんめい
男子
めいし
藤岡 江心 上岡 脳洲 岩城 溪峰
とうおか えいじん じょうおか はのうす いわき

井上 村尾 翔風

村上 安藤 光泉

日高 大隈 誠昂

田中 神東 竹穹

大口 伊井野翔踪
おおぐち いのの しょうそう

森本 田淵 耿文

崎元 高橋 誠緑

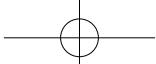
田中 溪岳 現洲

南口 中島 瞭風
なんぐち なかじま けいふう

末永 川上 耿道

佐々木渕山 関本 陽山

徳本 塩見 江隼



31

海を望む

うみ のぞむ

鵬島晴れ開く九萬の天
無人の島は定めて何れの邊なる
風を追う狂浪奔馬の如く
忽ち巉礁に触れ碎けて煙と作る

藤井

竹外

李

空

白

海

佐野竹之助

香川

香川

香川

香川

香川

香川

香川

香川

香川

30

早に白帝城を発す

はくにしらみやまをはつ

朝に辞す白帝彩雲の間
千里の江陵一日にして還る
两岸の猿声啼いて住まざるに
輕舟已に過ぐ万重の山

細川

珠鳳

船橋

香川

今井

雅風

正風

石川

天野

小西

峰春

飯田

将風

大西

晴風

秋山

長田

翠鳳

誠久

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

29

後夜仏法僧鳥を聞く

ごやぶっぱうそうちょう

関林独坐す草堂の暁
三宝の声一鳥に聞く
一鳥声有り人心有り
声心雲水俱に了々

細川

珠鳳

船橋

香川

今井

雅風

正風

石川

天野

小西

峰春

飯田

将風

大西

晴風

秋山

小藤

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

28

出郷の作

しゅつきょうさく

決然国を去つて天涯に向う
生別又兼ぬ死別の時
弟妹は知らず阿兄の志
懸懃袖を牽いて帰期を問う

細川

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

西山

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

小藤

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

花山

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

翔山

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

繩手

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

原

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

原

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

平田

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

井上

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

扇山

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

理泉

珠鳳

翠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

原

珠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

木村

珠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

鷺田

珠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

秋山

珠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

鈴木

賞泉

鈴木

賞泉

秋山

珠鳳

堀家

麗水

千秋

石川

城粹

大西

忠風

荒井

航風

35

34

33

32

早に白帝城を発す

九月十日
去年の今夜清涼に待す
秋思の詩篇断腸
恩賜の御衣今此に在り
持持して毎日余香を挙す

一
夜
新
霜
瓦
に
著
い
て
軽
し
芭
蕉
は
新
た
に
折
れ
て
敗
苟
は
傾
く
寒
に
耐
う
る
は
唯
東
籬
の
菊
の
み
有
つ
て
金
粟
の
花
は
開
いて
曉
更
に
清
し

金剛山
こんごうさん
一片の赤心報國の情
いっぺんのせきしんぽうこくじょう
せんじゅうやくせい今に至るまで清一
せんじゅうやくせいいまいたるまできよ
千秋の節氣今に至るまで清一
せんしゅうやくせいいまいたるまできよ
金剛山下孤城の畔
こんごうさんかじょうほり
挫き得たり虎狼百万の兵
くじえらべりひふらひゃくまんのへい

李り

菅原道直

白居易

山岡 鉄舟

吟道精修流
勝沼 森川 三浦 照修
範山 志峰
溝口 飯塚 中島 剛修
景泉 志邦 男子
竹本 平野 大津 純修
昭一 志海
川奈神

水真流清心吟詠会 男子 広島

長崎県吟劍詩舞道総連盟
宮本精秀 森田玲風 岳真 下田京子 永野岳尚 岳羅
宮崎精英 稲吉美風 駕屋栄子 女子長崎

徳島県吟劍詩舞道絶連盟 男子 徳島
原田 瑞祥 篠原 脇泉 藤村 瑞宝
芝原 水聖 原田 祥洸 志宇知秀峰
中尾 明俊

利根川志水
齋藤英風

立道
蘭山

佐々野岳玲
林友風

佐藤 俊風

米山
輝山

磯永龍溟

松本
上田
志星
幸山

津丸 森脇 煙山 煌

川上 森岡 岳龍 雉兵

田村水龍

後夜仏法僧鳥を聞く

本田道灌墓を借るの図に題す

つと
はくていじょう
はつ
早くいじょう
はつ
朝に辞す白帝彩雲の間
せんり
千里の猿声啼いて住まざるに
わがん
えんせいかな
や
かえ
一日にして還る
りうがん
えんせいかな
や
かえ
軽舟已に過ぐ萬重の山
けいじょうす
す
わんぢょう
やま
す

九月十日

空くう

海かい

李り

菅原 すがわらの
道真 みちざね

臥風流吟詠会本部Cチーム 女子 香川
大川 萱原 山本 錦風 美風
臥和 大塚 谷本 細谷 千風
臥尋 谷 𩫇 桃風
臥澄 谷 飯田 堀田
芳風 賀風
小泉 古川

吟詠道鶴洲流山口吟詠会 女子山口
中谷 鶴山 前田 鶴咲 岡本 鶴峯 岡崎
秦 鶴洲 中村 鶴千 鶴淋 古屋 鶴織
北詰 鶴玲 金石 鶴船 岡 鶴琳 鶴洵

雪山流吟詠会 女子 広島
平上 宮本 雪漣
雪容 勝泉 山田 雪鶯
辻 桜泉 雪菱
平川 八千代 石田 雪粋
木原 雪明

岳精流日本吟院六郷岳精会 女子 東京
上杉 龍景 前嶋 龍彩 三浦 龍江
井上 洋山 菱田 薫泉 川端 美泉
成田 幸泉 葛西 咲水 神戸 とみ子

森 橋崎

增野

今井 拓植

三
田

圭風

鶴竹

雪紀

宮本
市原

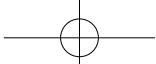
沖西岡本

香川 下西

妙風臥裕

鶴孝

雪嶺



47

46

45

44

出郷の作

一夜新霜瓦に著いて
芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
金粟の花は開いて曉更に清し

けつぜんくに
けいわくをさつて天涯に向う
かんにたたかぬ死別の時
きんしはしらす阿兄の志
せんじゆを牽いて帰期を問う

佐野竹之助

菊花

一夜新霜瓦に著いて輕かし
芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
金粟の花は開いて曉更に清し

いもやしんちかわにしついてかるかし
ばばはあたらにひれりへいがはかたび
きんしゆのはなはひらいてあさふるにきよ

海を望む

鵬際晴れ開く九万の天
無人の島は定めて何れの邊なる
風を追う狂浪奔馬の如く
忽ち巉礁に触れ碎けて煙と作る

ほうさいはひらきゅうまんのてん
むじんのしまはさだめつてかれのへんなる
かぜをおうきょうろうほんぱのごく
たちまざんじゆうふくだかけむりとなむ

楓橋夜泊

月落ち島暗いて霜天に満つ
江楓漁火愁眠に對す
姑蘇城外の寒山寺
夜半の鐘声客船に到る

つきおからすなしまうらいてしやうてんにまつ
こうふうぎょかしやうみんにたいす
きよそじうがのかんざんじ
やはんしよせいかくせんのきよせんにいたる

張ちょう

継け

哲泉流中国地区Cチーム 女子 岡山

河田 森定 秀美 石井 照子 藤井久美子

水落 零泉 栗本 真泉 小林 耿眞

萬泉 真泉 橋本 采泉 前原 山下

藤森 真泉 桥本 采泉 原山 耿貴

前原 山下
耿貴

羽原 閑泉
智恵子

萩原 一裕
秋原 美泉

福岡県吟剣詩舞道総連盟 女子 福岡

岡野 熊谷 麗風 岳敬

森永 栄亮 松本 緑扇

笠井 扇亮 長谷川芳泉 長谷川鯉泉

田中 栄環 田中 栄琳

吉原 植原 植原 植原

妃陽 恵雅 恵雅 恵雅

江藤 和嶋 克峰 桂緑

平畠 渡邊 紫陽 岳美

植原 植原
恵雅 恵雅

和嶋 克峰
桂緑

渡邊 紫陽
岳美

吟道精修流 女子 神奈川

梶原 志櫻 博山 松田

横山 吉田 雅山 加瀬由紀子

板山 志祥 柳澤 紅修

志容 柳澤 紅修 加瀬由紀子

志勝 山長 智風 志勝

志勝 山長 智風 加瀬由紀子

志勝 山長
志勝 山長

服部 彩風

遠藤 坂下
志風 知志

吟道閔心流岡山県本部 女子 岡山

野崎 佳芳 川村 美芳

景芳容 岩佐 芳榮

芳容 岩佐 芳榮

井上 芳優 前田 芳賀

芳優 前田 芳賀

有瀬 加子 小林 竹内

加子 小林 竹内

芳賀 岩佐
芳賀 岩佐

岡本 松浦
芳續 耀芳

岡田 宮田
芳絢 郁芳

太田道灌襄を借るの図に題す
おおたどうかんみの
か
孤鞍雨を衝いて茅茨を叩く
こあんあめ
こうじんうめ
少女為に遺る花一枝
しょうじょい
少女言わざ花語らず
しょうじょいわざ
英雄の心緒乱れて糸の如し
えいゆう
しょくじよみた
いと
ごと

作者不詳

雪山流日本吟詠学院 男子 東京

出浦縣川野
雪励鷹雪
笙雪削弓田削
要雪小磯中野
笙雪風省野中
池田會川上
雪將洋雲岩風

男子 東京

50

早に白帝城を發す

李

光風流山陽吟詠会 女子 山口

竹岡秋白瀬
稀風華妃風
永田勝兒玉
和代麗江風
罐子松德川
克子聖輝國

49

楠公子に訣るるの図に題

賴

南朝
應島吟劍詩舞道總連盟
大吉 一吉
二吉 日
三吉 月
四吉 年

正木 楠部
鵬山 齋山
道田 木戸
煌山 一声
吉田 鶯山
浮津 虞山
健山 二井谷

48
早く白帝城を発す

早に白帝城を發す

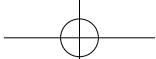
李

熊本県吟劍詩舞道総連盟 男子 熊本

奥田向山伊東
旭峰侑諒秀峰
築地梅田土生
鸞峰侑正誠星
土田今福野村
岳峰蘇明蘇月
吉田仙峰鹿子木蘇凌

山口
泰峰

海平 晟峯



55

菊花 きくか
 一夜新霜瓦に著いて軽し
 芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
 寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
 金粟の花は開いて暁更に清し

白居易

はく
きょ
はく

易い

54

早に白帝城を發す

朝に辞す白帝彩雲の間
 千里の江陵一日にして還る
 両岸の猿声啼いて住まざるに
 軽舟已に過ぐ万重の山

李

はく

53

太田道灌蓑を借るの図に題す

孤鞍雨を衝いて茅茨を叩く
 少女為に遺る花一枝
 少女言わず花語らず
 英雄の心緒乱れて糸の如し

作者不詳

はく
きょ
はく

52

菊花 きくか
 一夜新霜瓦に著いて軽し
 芭蕉は新たに折れて敗荷は傾く
 寒に耐うるは唯東籬の菊のみ有つて
 金粟の花は開いて暁更に清し

白居易

はく
きょ
はく

心彰流愛吟詩道会 女子 群馬

藤原 高田 心宣 小暮 心慶 心啓 柳澤 春香

心楨 心姿 金田 坂本 心皇 心順 心道

田中 心宣

町田 岩崎
心洋

碓水 金子
心佳

高木 吉野
心富 心恵

東京都吟剣詩舞道総連盟 女子 東京

青井 紀風 藤田 霜晃 加藤 岳紅 三浦 詩泉 上村 成瀬 山田 伯峯 小塚 源晶

田中 萩由 浪岡 輝山 舞岡 舞山 成瀬 瑛鳳 佳山 夏目 勝岳 長田 峰舟 勝岳

根岸 源晶

原齋藤 凰瑛 京岳 永珠 佳仁 翠雋

鈴木 永珠 佳仁 翠雋

大阪府吟剣詩舞道総連盟 女子 大阪

荒川 衣松 藤原 凍声 松岡 聖岳 森 入口

瑞華 彩黎 今井 優岳 鈴木 翠雋

田中 萩由 加藤 岳紅 三浦 詩泉 上村 成瀬 山田 伯峯 小塚 源晶

夏目 勝岳 長田 峰舟 勝岳

西川 木浦 恵岳 寿成

藤木 北尾 紅彩 慶萌

水真流聖山吟詠会 女子 広島

三上 平賀 桜 田部 京子 三上 平賀 桜 田部 京子

壽山 原田 佳山 中野 康山 濱田 純子 幸島 彩山 羽多野 清山

角田 陽山 伊藤 靖山 中野 康山 濱田 純子 幸島 彩山 羽多野 清山

伊藤 靖山 中野 康山 濱田 純子 幸島 彩山 羽多野 清山

吉政 謙山 黒川 梅泉 佐々木孝山

吉政 謙山 黒川 梅泉 佐々木孝山

九月十日
くがつとおか

去年の今夜清涼に待す
秋思の詩篇独り断腸
恩賜の御衣今此に在り
捧持して毎日余香を拝す

太田道灌墓を借るの図に題す
かおおたどうかんみのかずだい
孤鞍雨を衝いて茅茨を叩く
少女ために遣る花一枝
少女言わず花語らず
英雄の心緒乱れて糸の如し

作者不詳

菅原
すがわらの
道真
みちざね

出郷の作
しゅつきょうさく

決然国を去つて天涯に向う
生別又兼ぬ死別の時
弟妹は知らず阿兄の志
慇懃袖を牽いて帰期を問う

佐野竹之助
さのたけのすけ

島根県吟劍詩舞道総連盟
島根
島根県吟劍詩舞道総連盟
男子 岡山

伊藤 金山
伊藤 孝風

吉岡 南目
吉岡 道風

森田 須田
耕風 勢風

おおたどうかんみのかずだい
孤鞍雨を衝いて茅茨を叩く
少女ために遣る花一枝
少女言わず花語らず
英雄の心緒乱れて糸の如し

作者不詳

嘉風流吟剣詩舞道 女子 山口
田邑 嘉風
山口 慈風
藏中 高木 婦風
惠水 西林 怜風
村本たみこ 内野 精風
田邑奈緒嘉

佐伯 繾風
二家本香風

田邑 嘉鐘
原田 孝風

中原 晃風
藤本 征水

公益社団法人日本詩吟学院認可 岡山岳風会 女子 岡山
中村 岳双 上久保岳幸
中司 洋岳 森田 佑風
石井 滋山 岩元 敏山
平田 武子 安木 栄風
武田 美鵬 山崎 岳詔
片山 純鵬 西村 正鵬
藤原三知代 齋藤 昭子 川野辺洋鵬
川崎 丹山 鶴鵬 禮鵬
武鎗 章鵬 武鎗 美鵬
章鵬 川崎 丹山 禮鵬
笠原 佳岳 村上 民風
笠原 民風 村上 佳岳
成田 栗山 美岳 充風
成田 栗山 美岳 充風
佐藤 晃鵬

問梅閣
もんばい閣

春に問う何れの処よりか来る
はるにとひがれのところよりか来る
春來つて何れの許にか在ると
はるきたつてひがれのところにあ在ると
月墮ちて花言わず
つきおちてはないの許にか在ると
幽禽自ら相語る
ゆうきんおずからあいかたに語る

高

啓

契秀流吟詠会 女子 神奈川
種本 小倉 赤瀬 契秀
尊心 契映 増田 麻生 契春
秀裕 赤阪 契潤 原
毛呂 松田 契如
秀明 心雅

小倉 佐藤
希心 契渚

吉澤 広瀬
蝶心 契南

米須 後藤
聖心 契弘

全国合吟コンクール上位入賞団体

少壮審査会入選者・地区連絡協議会・ 幼少年・開催地推薦 吟剣詩舞

〈第一回全国少壮吟詠家選考審査会入選者吟詠〉

1 折楊柳

楊 巨 源 吟 荒崎 紫春

水辺の楊柳緑烟の糸

馬を立て君を煩わして一枝を折る
唯春風の最も相惜しむ有つて
蹙懃更に手中に向つて吹く

2 河内路上

菊 池 渥 琴 吟 德安 緑晋

南朝の古木寒霏に鎖さる
六百の春秋一夢非なり
幾度か天に問えども天答えず
金剛山下暮雲帰る

一三時〇〇分

3

両英雄

堂々たる錦旆関東を圧す
百万の死生談笑の中
群小は知らず天下の計
千秋相対す両英雄

4

鳥江亭に題す

勝敗は兵家も事期せず
羞を包み恥を忍ぶは是れ男兒
江東の子弟才俊多し
卷土重来未だ知るべからず

5

母を奉じて嵐山に遊ぶ

嵐山に到らざること已に五年
万株の花木倍鮮妍
最も忻ぶ阿母と衾枕を同にし
連夜香雲暖かき処に眠る

徳富蘇峰吟太田修道

杜

牧

吟綿谷芳由

頼

山
陽
吟
郡司
明風

せい
夜
思

牀前月光を見る
疑うらくは是れ地上の霜かと
頭を挙げては山月を望み
頭を低れては故郷を思う

李り

白はく

吟 平野 松草

全國地区連絡協議会推薦吟劍詩舞

中部地区連絡協議会代表

伊勢神宮

光華孝徳 無窮に繞き
正に犧皇と 業も亦同じ
黙祷す 聖人神道の教え
六合に照臨す 太神宮

中なか
江え
藤とう
樹じゅ

綿谷吟
舞芳由
小倉紫眺
小倉萌明
中西馨芳

加藤梢明

吉田朋香

〈近畿地区連絡協議会代表〉

壇の浦を過ぐ

魚莊蟹舎雨煙と為る
蓑笠獨り過ぐ壇の浦の辺
千載の帝魂呼べども返らず
春風腸は断つ御裳川

〈四国地区連絡協議会代表〉

桂浜

松青く 砂白うして 翠螺横たわり
浦戸湾頭 秋氣清し
名月 玲龍 雲を破つて上り
金波 万里 一眸 明かなり

上うえ
本もと
竹ちく
永えい

村むら
上かみ
仏ぶつ
山ざん

笛野舞 中西吟
華翠 紫風

左納慶花翠

西野 西村 林舞 田中 荒井 堅田 河野 大西 吟
晃城 霊洗 霊山 翠洸 容春 妙游 美岳 岳靜

山脇 石元 田中 小柴 西本 紗子 秋山 森下 西村
聰城 霊空 霊鳳 峰晴 容芽 風靜 江岳

東 澄谷 高橋 中城 品原 明神 福井
悠城 霊寿 霊粹 峰玲 容薰 美岳 翔山

東 谷脇 高波 山本 岡本 重軒 岩本
江城 霊峨 小陽 蒼春 翠凰 容貴 勢岳 裕子

中平 林別役 斎藤 門舛 山崎 山本
穂城 霊南 惠蒼 照鳳 容葉 繁風 悠岳

〈九州地区連絡協議会代表〉

日本刀

にっぽんとう

大鳥圭介

津村義恵

川崎義信

平野岳晴

藤本誠堂

藤本誠堂

鍛冶研磨す幾百回

いくひやくかい

霜鋒三尺玉に埃無し

ちらな

疑わず日本刀の犀利なるを

さいり

曾て盤根錯節を試み来る

こころ

きた

〈特別出演 岡山大学吟詩部によるエールと吟詠〉

岡山大学吟詩部

壁に題す

へき
だい

村むら
松まつ
文ぶん
三ぞう

吟
朔太郎
美由紀
武甕
東
渕上
西山
笛木
大輔
宗汰
侑希
太陽
大輔

大塚
辻
吉田
健命
宮本
晴生
佐真
優
小倉
野村
片山
千佳子
彩花
葵
河合
三宅
凛太朗
加藤
暖人
帆足
岡本
和航
聖
前田
小川
さくら
鉄兵
杉本
栗原
孝明
海士部
あきこ
葵

男児志を立てて郷閥を出ず
がくじ
だんじ
いこうかん
い
学若し成る無くんば死すとも還らず
がくも
がくじ
な
ほね
うず
あにただふんば
骨を埋む豈惟墳墓の地のみならんや
にんげんいた
ところ
せいざんあ
人間到る処に青山有り
にんげんいた
ところ
せいざんあ

〈幼少年代表吟劍詩舞〉

〈中国地区連絡協議会〉

弘道館に梅花を賞す

弘道館中千樹の梅
清香馥郁十分に開く
好文豈威武無しと謂わんや
雪裡春を占む天下の魁

偶成

水陸三千共に兵を進め
兩軍今日輸贏を決す
丘に上つて一望すれば敵方に近し
袖に触るるの飛丸曼として声有り

徳川景山

吟(広島)小藤侑梨乃

繩手美月

原万里恵

原彩佳理

永瀬楓

大鳥圭介

舞(岡山)藤原陽葉理

藤原依知花

吉崎愛真

塙本暎和

永瀬蓮

吟(岡山)国光真寛

坂本彩希

坂本暎和

坂本和奏

永瀬楓

花本瑛里

内藤あさひ

浅井もあ

原彩希

原彩佳理

堤薰子

若林希一

戸川嘉乃

戸川嘉乃

原万里恵

原彩佳理

河瀬泰知

白虎隊

みなみつる
南鶴ヶ城を望めば砲煙上がる
つうこくなだ
痛哭涙を飲んで且つ彷徨す
そうしゃほろ
宗社亡びぬ我が事畢わる
じゅうやう
十有九人屠腹して僵る

天草洋に泊す

あまくさなだ はく
くも やま ざえつか
くも 山か呉か越か
すいとんぼうふせいいっぽつ
水天髪髪青一髪
ぱんりふね あまくさ
万里舟を泊す 天草の洋
けいり はこうそう
煙は篷窓に横たわつて日漸く没す
べつげん ひょうや
瞥見す大魚の波間に躍るを
たいぎよ はかん
太白船に当つて明月に似たり
たいはくぶね あた
あいたづきに

頼

佐

山

原

陽

盛

吟

純

(岡山)

詠

大山

竹本

桔乃

幸輝

舞

土井長翼

(岡山)

吟(広島)

田中

佐

優季

さ

和氣

古賀

桜子

光

片山

後藤

心結

花音

畠本

土井長遼

彩結

山吉

香西

弘晃

美佳

〈開催地代表吟劍詩舞〉

〈岡山県吟劍詩舞道総連盟〉

春日山懷古

かすがさんとうばんか
春日山頭晚霞に鎖さる
かりゅういなな
驛驅嘶き罷んで鳴鴉有り
あわ
憐れむ君が独り能州の月を賦して
平安城外の花を詠ぜざりしを

大 槻 磬 溪

少壯審査会入選者・地区連絡協議会
幼少年・開催地推薦吟劍詩舞

綱島 宮末 銅山 木待 赤木 入江 福島 渡邊 早田 高橋 森 梶原 真鍋 高津 山本 大橋 吟
央 玄 孝 寛鵬 富洲 良洲 幸輝 碧春 淋泉 武岳 光岳 康風 重岳 信洲 驚風 宗風

川 千田 長瀬 七村 木庭 川寄 滝本 村上 尾中 田中 北村 森本 安藤 山城 宮野
央 玄 新 隆鵬 志芳 洋洲 正山 青春 菖泉 忠風 祥岳 実誠 摂惠 展鵬 紫靖 明洲 鶴誠

高浪 和氣 森下 本行 小林 佐藤 河野 原田 廣瀬 影山 岩山 赤澤 好井 筑後 小坂 中西
豊利 教世 紀鵬 翫芳 頌洲 春山 隆一 志泉 正山 正岳 元風 志峰 海山 魁山 蘆洲 摂糸

山田 森 西 櫛田 梶原 玉井 中原 入江 玄馬 原田 岡本 大山 小畠 川渕 矢吹 千田
良三郎 光暉 良鵬 晃芳 健洲 幸康 文泉 六泉 和風 粋風 師泉 青山 洋鵬 勢風 岳鵬

前田 三野 柴田 三宅 赤木 植田 佐能 井上 白神 橋本 城井 田 小川 杉山 藤原 渡辺 坪井
正俊 明文 章文 懾洲 善風 泰弘 蒼春 新泉 浩岳 岳英 勇友 岳英 征風 岳泉 誓山

汪倫に贈る

おうりん
おく

李白舟に乗つて將に行かんと欲す
李りはくふねの
忽ち聞く岸上踏歌の声
桃花潭水深さ千尺
及ばず汪倫が我を送るの情に

清水宗治

殺到す東軍
攻防殺す東軍
沛然たり梅雨
從容たり恨みを呑むの情
死百戦孤城を保る
一死百戦孤城を保る
沛然たり梅雨
從容たり恨みを呑むの情
死十萬の兵

李り

藤ふじ

上かみ

南なん

山ざん

白はく

木山	藤島	舞	柴倉	吟	太田	砂川	和田	武田	宮田	山本	竹内	宮本	樋口	武政	赤木	猪木	原瀬	上野	米本	河田
優一	恵隼		勇洲		富久子	凜世	尊晶	美鵬	郁芳	芳馨	芳光	美泉	春暁	春踊	榮泉	尊倫	耿泉	鴻泉		

石原	高田	野瀬		水野	西村	吉國	野崎	岩佐	小黒	戸田	奥野	赤澤	丸野	竹内	日枝	大西	久保輝一鵬		
愛美	将学	貴洲		光雪	尊祐	恵鵬	佳芳	芳榮	芳鶴	麗風	英子	耿佳	蓬泉	芳園	柔鵬	岳美			

松山	茉莉名	王田	岩江	馬場	高岡	高橋	川村	前田	神崎	杉村	木下	岡田	新谷	坂	有森	高山			
茉莉名	晃隼		金春	陽子	里水	鶴瑛	美芳	芳興	芳貢	幸風	和子	春愛	系泉	芳容	美鵬	芳由	鶴山		

北山	杭田			家原	安原	藤岡	有瀬	小林	岡本	須崎	浦部	明金	牧野	和氣	武大塚	白神			
遼也	誠秀			央恭	華水	鶴扇	加子	嬪芳	芳續	裕風	圭泉	春佳	俊泉	栄世	綱泉	芳端	君風		

新美	永瀬			川上	稻田	森	川野辺	松浦	岡	井上	森脇	滝澤	雪吉	平松	神田	松井	今井		
璃空	健一			房江	荅世	尊英	洋鵬	耀芳	芳絳	芳優	碧水	春瑤	水泉	韶泉	鶴秋	芳春	尊容		

倉敷周遭即事

くらしきしゅうそうそくじ
風和らぎ楊柳 輕煙を帶び
白鷺 飛び来りて水辺に舞う
紫甍 知る是れ連綿たり天領の地
白壁 軒を接して鮮やかなりり

藤ふじ
上かみ
南なん
山ざん

吟白神
舞綱風
安田 那須 岡崎 妹尾 今脇
楓央 華清 玉紹 昇山 萌山

武政
紫柑
浅上 藤原 安井 永岡
楓諒 恵友 薫山 笠山

猪木原怜花
松永
甲本
長田
下古立 虹園 恵就 南陵
楓山

浅利
馬場 水川 浅利
間野 惠純 象景 黎山
縁心

内藤
奥田
柳本
秀玲
三角園 薫風 秀山
萌麗

全国コンクール優勝者の披露

一四時一五分

令和六年度全国吟詠コンクール決勝大会（令和六年九月十六日、東京・日本教育会館一ツ橋ホールで実施）

令和六年度全国剣詩舞コンクール決勝大会（令和六年九月二十三日、大阪・門真市民文化会館ルミエールホールで実施）

令和五年度全国剣詩舞群舞コンクール決勝大会（令和六年二月十一日、愛知・東海市芸術劇場で実施）

吟詠コンクール

幼年の部

吟詠

遠山
江南の春

（東日本地区代表・東京）

杜と

牧ぼく

吟詠

遠山
江南の春

千里鶯啼いて緑紅に映す

水村山郭酒旗の風

南朝四百八十寺

多少の楼台煙雨の中

少年の部

吟詠

原田 愛子

（九州地区代表・大分）

九月十日

去年の今夜清涼に侍す

秋思の詩篇獨り断腸

恩賜の御衣今此に在り

捧持して毎日余香を挙す

菅すが

原わらの

道みち

眞ざね

一般三部

吟詠 中野 澄子（中国地区代表・広島）

佳賓好主

月は梅花を訪うて好主と為し
梅は月影を邀えて佳賓と作す
佳賓好主両つながら双絶
管領す黄昏一刻の春

佐藤一斋

吟詠 原 光希（近畿地区代表・兵庫）

従軍行

秦時の明月漢時の閥
万里長征して人未だ還らず
但竜城の飛将をして在らしめば
胡馬をして陰山を度らしめず

王昌龄

青年の部

一般二部

吟詠 井川 良得（東日本地区代表・茨城）

時に憩う

薪を担うて翠岑を下る
翠岑路は平かならず
時に憩う長松の下
静かに聞く春禽の声

良寛

一般一部

吟詠 井戸 隆裕（近畿地区代表・大阪）

従軍行

秦時の明月漢時の閥
万里長征して人未だ還らず
但竜城の飛将をして在らしめば
胡馬をして陰山を度らしめず

王昌龄

〈剣詩舞コンクール〉

劍舞 壇嘉門（中部地区代表・愛知）

鞍馬の牛若

松 口 月 城

幼年の部 | 剣舞 |

幼年の部
— 詩舞 —

詩舞 齊藤 柚璃（近畿地区代表・兵庫）

松 口 月 城

青葉の笛

少年の部
—— 剣舞 ——

建部 有咲（中部地区代表・愛知）

斯の志を成さんと欲して豈躬を思わん
ほのくらを埋む青山碧海の中
ほせいかんへきかいのうち
醉うて宝刀を撫し還冷笑す
よけいとうをなでしもどりこわうす
決然馬を躍らして関東に向う
けつぜんうまをのぼらしてかんとうむこう

詩舞 堀 真大朗（中部地区代表・愛知）
あおば ふえ

青葉の笛
いちの谷の軍營遂に支えず
へいけのまつろひとをして悲しましむ
せんうんおさまる処残月あり
さいとうふえかなふるものたれは誰ぞ

松 口 月 城

一般三部　— 剣舞 —

剣舞 小澤 文子（中部地区代表・愛知）

涼州詞

黄河遠く上る白雲の間
一片の孤城万仞の山
羌笛何ぞ須いん楊柳を怨むを
春光度らず玉門関

王おう
之し
渢かん

一般三部　— 詞舞 —

詩舞 蜂須賀 記代子（中部地区代表・愛知）

巖島

遙かに鼈背を観れば一蓬萊
翻々たる雲煙瑞台を擁す
月落ちて長廊湾上に静かなり
万灯の星列波を照して来る

浅あさ
野の
坤こん
山ざん

一般二部　— 詞舞 —

詩舞 入倉 仁美（中部地区代表・愛知）

壇の浦を過ぐ

魚莊蟹舍雨煙と為る
蓑笠独り過ぐ壇の浦の辺
千載の帝魂呼べども返らず
春風腸は断つ御裳川

村むら
上かみ
仏ぶつ
山ざん

一般二部　— 剑舞 —

剣舞 西原 香（近畿地区代表・兵庫）

豊公の旧宅に寄題す

海を絶するの樓船大明を震わす
寧んぞ知らん此の地柴荘を長ぜんとは
千山の風雨時々悪しく
猶お作す当年叱咤の声

荻お
生ぎゅう
徂徂そ
徠らい

青年の部 — 剣舞 —

剣舞 上岡 雅治（中部地区代表・三重）

和歌・さえのぼる

さえのぼる月にかかる浮雲の
末ふきはらへ四方の秋風
さえのぼる月にかかる浮雲の
末ふきはらへ四方の秋風

織田信長

青年の部 — 詞舞 —

詩舞 原光希（近畿地区代表・兵庫）

和歌・よもの海

よもの海みなはらからと思ふ世に
など波風のたちさわぐらむ
よもの海みなはらからと思ふ世に
など波風のたちさわぐらむ

明治天皇御製

一般一部 — 剑舞 —

剣舞 奥谷晶子（中部地区代表・愛知）

豊公の旧宅に寄題す

海を絶るの樓船大明を震わす
寧んぞ知らん此の地柴莉を長ぜんとは
千山の風雨時々悪しく
猶お作す当年叱咤の声

荻生徂徠

一般一部 — 詞舞 —

詩舞 伊藤修司（中部地区代表・愛知）

和歌・よもの海

よもの海みなはらからと思ふ世に
など波風のたちさわぐらむ
よもの海みなはらからと思ふ世に
など波風のたちさわぐらむ

明治天皇御製

〈令和五年度全国剣詩舞群舞コンクール〉

群舞・剣舞

剣舞 友井川 友 (近畿地区代表・兵庫)

菅 富士子 松本 文

河野 天籟

赤坂の城千窟の屯
妖雲漠々天を捲いて臻る
夢は新たなり笠置山頭の曉
花は散り香は薰る芳野の春
涙を呑んで児に別る桜井の駅
笑つて死に就く湊川の津
南風競わず地に塗ると雖も
偉績長えに伝う忠烈の神

群舞・詩舞

詩舞 入倉 真之将 (中部地区代表・愛知)

堀 由起子 三浦 正碁
堀 真悠子 堀 真大朗

絶

海

錢塘懷古次韻
天目山崩れて炎運徂
東南の王氣平蕪に委ぬ
鼓鼙声は震うさんしう
歌舞香りは消ゆ十里の湖
古殿重ねて尋ぬれば芳草合し
諸陵何くにか在る断雲孤なり
百年の江左風流尽き

小海空しく環る旧版図

トレーナー (KT-1000)

「絆」

1台で練習から
本番まで

簡潔・完結

業界初の目玉楽器！！

87,780円(税込)

下取りサービス 10,000円割引！77,780円(税込)

①大音量が魅力！

マイク、外部出力端子付き

②伴奏曲57曲内蔵！

水4～12本対応

③同時に鍵盤も弾ける！

重伴奏(和音)が可能



CDから音源を取込
USB使用で幅広く！
(CD音源の本数変更±5本可能)

USB拡張基板
6,050円(税込)

水光社オリジナルカラオケ式音程機搭載！(HT-200)
ニューハンディトレーナー2

38,500円(税込)

下取りサービス 6,000円割引！32,500円(税込)

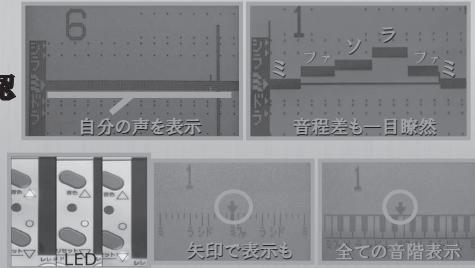
①軽量・小型

②音程確認

③アクセント確認

④本数確認

⑤省エネ機能



瞬間に自分の声を測定し、止めて確認できる、優れモノ！
ニューハンディトレーナー(HT-100)の機能はすべて搭載！

ハンディタイプで満足機能・今まで通りの練習を！(HT-100)
ニューハンディトレーナー

31,240円(税込)

下取りサービス 6,000円割引！25,240円(税込)



今までのハンディタイプと同じく軽量小型
陰・陽・律音階切り替え
電池駆動で充分！タイマーや基本的な機能
絶句用、和歌用、俳句用等10曲内蔵！
音色4種類、自分の耳に合う音色で
初心者からベテランまで充分に練習できる楽器

アダプターや専用バッグ等、オプション品のご案内・古いものから買い替え、下取りサービスもございます。

無料の講習会を月に一度、東京にて開催しています。老舗ならではの技術と志向を揃えております。お気軽にお問合せ下さい。

〒171-0022
東京都豊島区南池袋2-19-1
伊藤ビル401

TEL 03-3986-5631 FAX 03-3986-8832

0120-5631-88



公式HP

(株) 水光社

第五十四回

全国吟劍詩舞道大会特別企画吟劍詩舞

構成番組

染む紫の
雲の上まで

一五時二五分～

脚本・演出
ナレーション
佐々木宏高
小村晶子

1

常盤孤を抱くの図に題す

雪は笠檐に灑いで風袂を捲く
呱々乳を覗むるは若為の情ぞ
他年鉄拐峰頭の嶮
三軍を叱咤するは是れ此の声

梁や
川が
星せい
巖がん

吟向山
大山 侑真

猪木原瀉泉

2

鞍馬の牛若

恩讐脉脉心肝に徹す
鞍馬山の牛若丸
経文を読まず韜略を読む
鍊磨の一剣天に倚つて寒し

松まつ
口ぐち
月げつ
城じょう

吟
大山 宗鵬

野上 吟鴻

五條の橋

頼ら

杏

坪

吟

榮牛島

玲豊
岳蓉

大森

麗禪

恒成光熙子

五條橋上一神童
 走ること流星の如く飛ぶこと風の如し
 面を掩い刀を提げ知る何者ぞ
 三千の徒裏武藏坊
 刀を抛ち服了す神州の術
 是より終身僕従を約す
 芳野安閑多少の険
 郎党扶け得たり牛若丸

染む紫の雲の上まで

奇襲鶴越

翠巒碧浪砦を守り
一の谷の防備頗る固し
義経敵の虚を衝かんと欲して
密かに六甲の一角を扼す
人馬一体忽ちにして下る
岨々峻々の鶴越
潰走の兵海上に逃る
矢は飛びて鮮血波を彩る

大野の恵造

吟舞

堤林

煌彩龍美

柏木西原

鯉嶽杏泉

鯉将

鯉靖

鯉盛

鯉臘

鯉臘

鯉臘

鯉臘

鯉臘

鯉臘

鯉臘

鯉臘

一の谷懐古

二十余春夢一空
豪華吹き散ず海暝の風
山は殺気を排して參差として出で
潮は冤声を迸らせて日夜東す
憶う昔満宮去鶴を悲しみ
往事を将つて飛鴻に問わんと欲す
爛斑剥し見る英雄の血
塹樹鶲啼いて朶々紅なり

梁や
川が
星せ
巖が

吟
原田光玲子

伊東響峰

舞
藤上翔山

松山 恵煌
藤上 純夏
鎌田 美波

原 恵千
永岡 笠馨
川口 曜虹
安友 理恵
北山加寿美

菊野 桜山

野中 秀宗
岡野 恵淳
高見 瓊翔
田中 美紅
高橋 彩

壇ノ浦を過ぐ

魚莊蟹舎雨煙と為る
さわらひとすずだんうらのいは

今ぞ知る御裳川の流れには
いましるみやこのながれには

千載の帝魂呼べども返らず
せんざいのていこんよかえどもかえらず

浪の下にも都ありとは
なみしたにのみやこありとは

村むら
上かみ
仏ぶつ
山ざん

吟

岩永 優岳

多田 正晃
多田正千衣

関口 麗煌

多田 正稔
多田啓良

中野 祥理

多田正千世

染む紫の雲の上まで

和歌・見るとても

静御前

見るとも嬉しくもなし ます鏡
恋しき人の かげをとめねば

かがみ

横山耐雪 静御前

山中梅鈴子

見城星舟 宇津木星青龍

今城龍栄

見城星梅月

佐野星丹

野嶋帆楓

古田星紗

白雪の芳山去路遙かなり
聞くに忍びんや布粟の童謡に入るを
春風唯蓮台の上に在り
両袖の涙痕吹けども消せず

義経流離

いっしょはげ
一将烈しく義経の功を猜む
うふざん
宇府讒を容れて骨肉を逐う
こきゅばう
故旧亡じ難く芳山に入れれば
ひんむか
賓を迎えて遇するは唯冰雪のみ
てんかすで
天下已に身を置く処無し
となわ
乃ち郎党を具して陸奥に走る
ろうとう
悲運の人緑暗に憩うの時
ひうんひとうよあん
杜鵑代つて放つ裂帛の声
とけんかわはなれつぱくこえ

大野恵造

吟

尾崎水紅
長谷川素榮

舞

青柳弦太朗
青柳芳桂慈

土澤美岳

青柳青
芳海栄

加藤契甕
青柳芳紀
青柳芳優

染む紫の雲の上まで

安宅の関 あたかのせき

暮鐘一點寒山に響き
寂滅煩惱無常觀

ばしおいっでんかんざんにひび
じやめつぱんのうむじょかん

簾懸の露にや濡れん旅衣

如月の風は寒し海津の浦

きさらぎのかぜはさむかいづのうら
かわひまなしのべのこみち

主従彷徨安宅の関

このめやま ゆうべくも
木芽山 夕の雲や へだつらん

まつかぜさむ
松風寒し 関のとざしに

多少の関山将に過ぎんとす
陸奥千里一步の関
諸国の勧進一声に集り
遊子の心情人亦嘆く

角光嘯堂

吟

松葉

向山

水緑

舞

奥谷

晶容

宇井修光
小池貴心

大日方佳容

安藤聖楓
荒谷麗容

平泉懷古
ひらいずみかいこ

三世の豪華帝京に擬す
さんせい ごうか ていきょう ぎ

朱樓碧殿雲に接して長し
しゆろうへきでんくも せつ なが

只今唯東山の月のみ有つて
ただいまたどとうざん つき あ

大おお
楓つき
磐ばん
渓けい

吟
前田
卓靈

佐々木秀景

染む紫の雲の上まで

弁慶の舞
べんけいのまい

弁慶
べんけい

うれしや瀧の水
たきみず
鳴るは瀧の水
なたきみず
ひは照るとも絶えずとふたり
ひがしてた
ひがしやつぱら
東の奴原が
ひがしかぶとくび
鎧兜を首もろともに
よろいかぶとくび
ころもがわ
衣川に切流しつるかな
ころもがわきりなが

黒衣霸を助けて幾十載
こくいはたすいじとうざい
忠義の心と兼ぬ文武の才
ちうぎのこころかぶんぶのさい
怪しむを止めよ風流余裕を欠くを
あやふうよゆうか
終身折れず一枝の梅
じゅうじんおいつしおうめ

杉浦重剛
すぎうらじゅうごう
武藏坊弁慶
むさしぼうべんけい

吟

八代光晃子
やしろみつこ
上岡暁壮
じょうこうぎじやう
山岡萌暁
やまおかめいじやう
小倉

米本耿泉
べんざん
上岡暁星
じょうこうぎじやう
加藤梢暁
かとうせうじやう

塩澤宗鳳
しおざわそうほう
美濃部暁匠
みのべぎじやう

衣川

孤影慘たり亡命の客
ひやくいせんこうひらいぢゆく ぼうめいきやく
百里潜行平泉に至る
ひやくりせんこうひらいぢゆくいたる

此處も亦安住の地に非ず
無常の春風衣川を吹く
一夜泰衡孤館を囮み
絶代の英雄北辺に死す
年歎時に三十一
文治五年桜花の天
義経の末路何ぞ悲壯なる
数奇の運命史編に伝う

大野恵造

吟詠スープチーム

森田 夏星

向山
侑諒

藤吉光瑞子

劍詩舞スープーチー

早淵
鯉仙

五月女凱昂
增井 鯉冠

入倉 昭山

見城星梅月
長澤 美心

堀木 暎明 杉浦 裕容

沓川
鳳容

染む紫の雲の上まで

辭世

後の世も また後の世も
六道の みちの巷に までよ君
そむ紫の 雲の上まで
おくれ先だつ ならひありとも
めぐりあへ

源義經

吟河野鶴聲

和田彩楓

祇園精舎
おんじょうじや

祇園精舎の鐘の声
おんじょうじやのかねのこゑ
諸行無常の響きあり
しょぎょうむじょうのひびきあり
沙羅双樹の花の色
さらそうじゆのはなのいろ
盛者必衰の理を顯す
しょうじやひついのことわりあらわす
奢れる人も久しがらず
おごひとひさず
ただ春の夜の夢の如し
ただはるのよのゆめごと
猛き者も遂には亡びぬ
たけつけものまついにはぼろびぬ
偏へに風の前の塵におなじ
ひとへにかぜのまえのぢりにおなじ

平々
家け
物もの
語たり

吟少壮吟士全員

染む紫の雲の上まで

令和六年度全国吟詠合吟コンクール 入賞団体発表と表彰及び大合吟

〈大合吟〉

吟劍詩舞道讚歌

笹川 良一

朝に吟じ夕に舞うて心身を練り
れいせつじきたたがいに真を養う
礼節持し来つて互いに真を養う
世界は一家皆我が友とも
世界は一家皆我が友とも
願わくは斯道を興して人倫を正さん



公益財団法人 日本吟劍詩舞振興会 会詩
笹川良一 創始会長 書

一七時〇〇分

〈財団公認各吟劍詩舞道総連盟代表〉

岡山	奈良	大阪	京都	福井	石川	富山	愛知	神奈川	東京	埼玉	千葉	新潟
藤上	芳倉	山内	山田	渡邊	前山	松澤	遠藤	田中	熊木	清水	石井	宮川
翔山	清峰	邦照	静将	紫峰	皇洲	天楓	晃楓	國臣	雪洲	錦洲	桃苑	紫朋
熊本	宮崎	長崎	佐賀	福岡	高知	徳島	愛媛	香川	島根	鳥取	山口	広島
大野	中武	藤本	寺町	河野	柿内	原田	松井	横山	中林	佐藤	高木	楠部
豊寿	玲星	誠堂	松博	鶴聲	瑞祥	松聲	公風	涼風	翔風	法洲	齋山	

全国吟詠合吟コンクール入賞団体発表と
表彰及び大合吟